

科目名	言語学入門A
科目名(英訳)	Introduction to Linguistics A
科目ナンバー	HF132A01
担当者 (非)は非常勤講師	田中 祐太
単位数	2
開講学年	1年
開講セメスター	春期毎週
履修順序・履修情報	
担当者及び時間割	【春学期】 田中 祐太: 金1-2
カリキュラムの中での位置付け ／DP(ディプロマ・ポリシー)	1年次の春学期に開講される。言語学に関する基礎的な知識を学習し、2年次以降に開講される言語学関係の専門科目を受講するための基礎を築く科目である。言語学系の科目の学習の基礎をつくるものであるため、全員が履修することが望ましい。 【ディプロマ・ポリシー(DP)】2024年度入学生以降対象 ②: ◎ ③: ○
身につく基礎力 / 身につく汎用力	課題設定力 クリティカル思考力 / 専門的知識・技能 思考力 学び続ける能力

授業の主旨 (概要)	本講義では、日本語と英語の具体例を通して、言語学・英語学の低位領域について学び、各領域における問題設定の仕方やその解決策を学びながら、言語学・英語学に関する基礎的な知識や考え方を身につける。これに加えて、2つの言語に関する言語事実を論理的に考察・分析する力も身につける。																																				
具体的 達成目標	本講義を通して、(1) 言語学・英語学に関する基本的な専門用語を具体例を用いて説明する力と(2) 日本語と英語の言語事実を言語学・英語学の手法(問題設定の仕方や解決策)に基づいて、論理的に考察・分析する力を身につける。																																				
授業計画	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">1</td><td>【内容】</td><td>【第1週】オリエンテーション: 言語学とは何か</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>「言語学」という言葉を辞典で調べておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">2</td><td>【内容】</td><td>【第2週】言語学・英語学の対象とその研究手法</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>言語学・英語学の手法に基づいて、提示された言語事実を観察しておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">3</td><td>【内容】</td><td>【第3週】英語史</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>今日の英語が成立した過程の概要が説明できるように講義プリントを復習しておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">4</td><td>【内容】</td><td>【第4週】形態論1: 形態論の基本</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>形態論の基本単位となる形態素の日英語の具体例を調べておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">5</td><td>【内容】</td><td>【第5週】形態論2: 省略語、混成語、頭字語</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>省略語、混成語、頭字語の日英語の具体例を調べておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">6</td><td>【内容】</td><td>【第6週】形態論3: 右側主要部の法則</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>提示された語の構造を書いてくる。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。</td></tr> <tr> <td rowspan="2">7</td><td>【内容】</td><td>【第7週】形態論(4): 複合語</td></tr> <tr> <td>【授業外学習】</td><td>日英語の複合語の例を調べてくる。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。</td></tr> </table>		1	【内容】	【第1週】オリエンテーション: 言語学とは何か	【授業外学習】	「言語学」という言葉を辞典で調べておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。	2	【内容】	【第2週】言語学・英語学の対象とその研究手法	【授業外学習】	言語学・英語学の手法に基づいて、提示された言語事実を観察しておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。	3	【内容】	【第3週】英語史	【授業外学習】	今日の英語が成立した過程の概要が説明できるように講義プリントを復習しておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。	4	【内容】	【第4週】形態論1: 形態論の基本	【授業外学習】	形態論の基本単位となる形態素の日英語の具体例を調べておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。	5	【内容】	【第5週】形態論2: 省略語、混成語、頭字語	【授業外学習】	省略語、混成語、頭字語の日英語の具体例を調べておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。	6	【内容】	【第6週】形態論3: 右側主要部の法則	【授業外学習】	提示された語の構造を書いてくる。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。	7	【内容】	【第7週】形態論(4): 複合語	【授業外学習】	日英語の複合語の例を調べてくる。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。
1	【内容】	【第1週】オリエンテーション: 言語学とは何か																																			
	【授業外学習】	「言語学」という言葉を辞典で調べておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。																																			
2	【内容】	【第2週】言語学・英語学の対象とその研究手法																																			
	【授業外学習】	言語学・英語学の手法に基づいて、提示された言語事実を観察しておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。																																			
3	【内容】	【第3週】英語史																																			
	【授業外学習】	今日の英語が成立した過程の概要が説明できるように講義プリントを復習しておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。																																			
4	【内容】	【第4週】形態論1: 形態論の基本																																			
	【授業外学習】	形態論の基本単位となる形態素の日英語の具体例を調べておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。																																			
5	【内容】	【第5週】形態論2: 省略語、混成語、頭字語																																			
	【授業外学習】	省略語、混成語、頭字語の日英語の具体例を調べておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。																																			
6	【内容】	【第6週】形態論3: 右側主要部の法則																																			
	【授業外学習】	提示された語の構造を書いてくる。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。																																			
7	【内容】	【第7週】形態論(4): 複合語																																			
	【授業外学習】	日英語の複合語の例を調べてくる。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。																																			

	8	【内容】	【第8週】第1週から第7週までの講義内容の確認テスト
		【授業外学習】	第1週から第7週までの講義内容について復習する。
	9	【内容】	【第9週】統語論1: 統語論の基本
		【授業外学習】	各統語範疇に相当する具体例を調べておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。
	10	【内容】	【第10週】統語論2: 文の構造
		【授業外学習】	文の構造や句構造を樹形図で書いておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。
	11	【内容】	【第11週】統語論3: 句構造規則
		【授業外学習】	句構造規則とそれによって生成される文あるいは句を書いてくる。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。
	12	【内容】	【第12週】統語論(4): 変形規則1
		【授業外学習】	変形規則に関する練習問題を解いておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。
	13	【内容】	【第13週】統語論5: 変形規則2
		【授業外学習】	変形規則に関する練習問題を解いておく。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。
	14	【内容】	【第14週】言語の変化
		【授業外学習】	形態論・統語論に関連した言語変化の例を調べてくる。 キーワード等の重要事項を自分の言葉で説明できるように講義内容を復習する。
	15	【内容】	【第15週】第9週から第14週までの講義内容の確認テスト
		【授業外学習】	第9週から第14週までの講義内容について復習する。
授業方法	基本的には講義形式で行うが、課題を出したり、グループディスカッションを実施することもある。 小テストや授業内容の質問に関するフィードバックを授業内で行う。		
成績の 評価方法	主に以下の2点に関して、小テスト(20%)と確認テスト(80%)で問う。 (1) 具体例を用いて専門用語を説明できるか。 (2) 提示された日本語・英語の具体例を言語学・英語学の手法に基づいて、考察・分析することができるか。		
成績の 評価基準	小テスト(20%)と第8週と第15週の確認テスト(80%)の合計点が60%以上であれば合格とする。 ただし、特別な理由がなく欠席が4回以上ある場合は単位は出せない。		
教科書			
参考文献			